

歯学系E棟等改修その他工事 ～優れた人材育成に寄与する研究施設づくり～

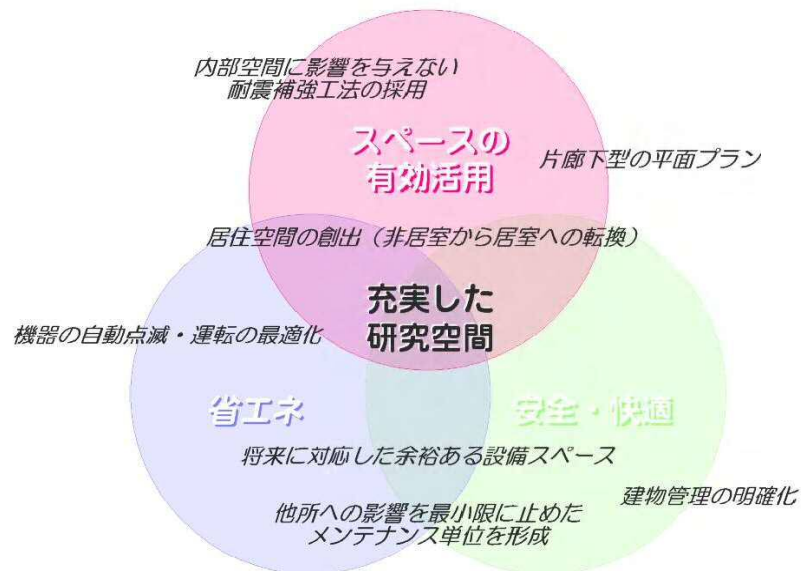


施設概要

- 名称：新潟市中央区学校町通2番町5274番地
- 所在地：新潟大学（旭町）歯学系E棟・G棟
- 建築面積：1,204.00 m²
- 延床面積：5,982.69 m²
- 構造：鉄筋コンクリート造
- 規模：地上5階+塔屋1階建
- 工期：平成26年12月19日～平成27年 8月31日

建物 外観（耐震改修に外付補強工法を採用）

計画概念



計画の基本コンセプト

【意匠性】

既存の建物と調和の取れた意匠となるよう、仕上材及び色彩の選定、メカニカルシャフトにルーバーを設置する等、デザイン性に配慮した。

【空間の有効利用】

電気室を集約化し、余剰となったスペースの居室への転換を図り、教育研究の為の空間を創出した。

また、既存の中廊下型平面プランから片廊下型に改修することで、まとまった空間を確保することができ、研究内容に合わせてフレキシブルな平面計画とすることが可能となった。

さらには、外付耐震補強工法を採用することで、室内に制約を与えず、耐震性能を向上させた。

【維持保全に配慮】

使用する機器類は汎用品、標準品を優先的に採用することで、修理・更新コストに配慮した。

【環境負荷の低減】

屋根、外壁面の断熱化を図り、冷暖房負荷の低減を図った。

また、排風機をインバーター化することによる運転の最適化、人感センサー内蔵型照明の採用による自動点滅等、電力消費の節減対策を講じた。

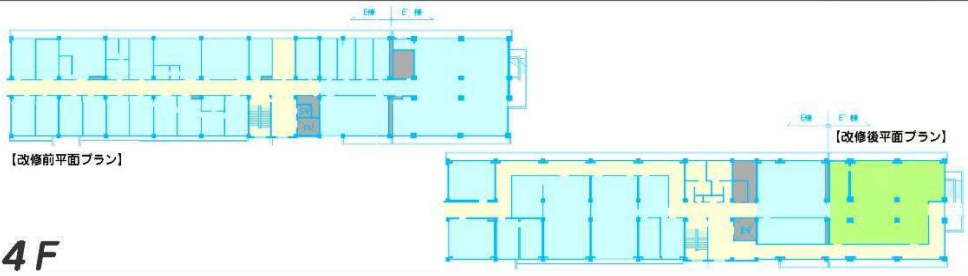
【将来への対応】

PS・EPSに余裕を持たせることで、点検及び設備の拡張に配慮した計画とした。

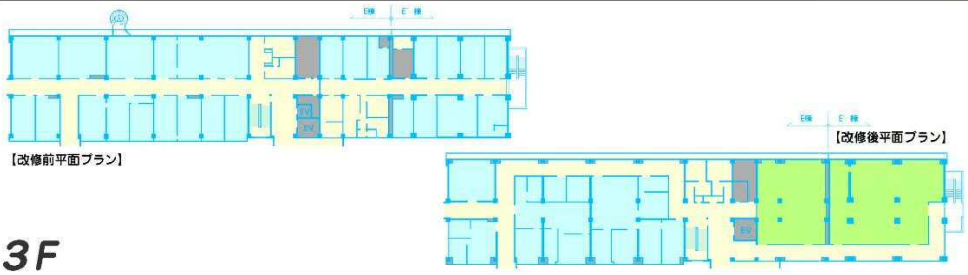
また、インフラ設備をモジュール単位ごとに配置することで、故障時の対応及び改修が必要となった場合等に、他の研究室や実験室への影響を最小限に止め工事が行えるよう配慮した。



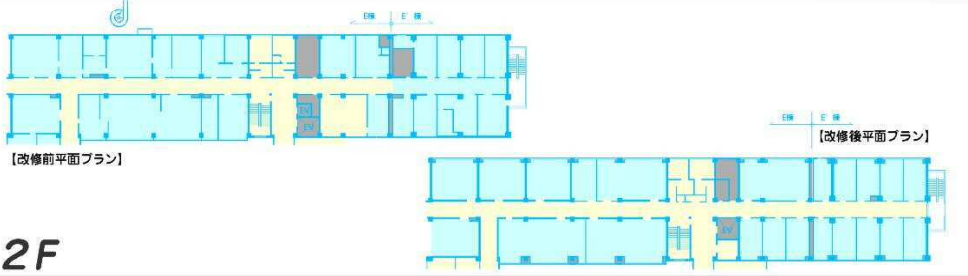
5F



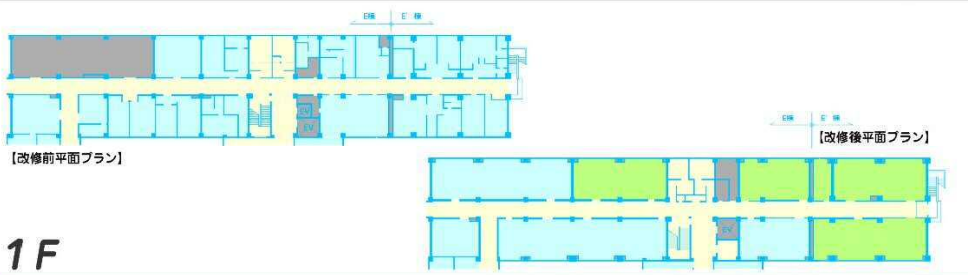
4F



3F



2F



1F



廊下

改修

廊下の位置を変更し、
大空間を確保



全学共有スペース



EVホール

改修

大型物品の垂直輸送を
可能としたEVを導入



EVホール



電気室

改修

余剰となった電気室を
居室化



基礎実習室



男子トイレ

改修

明るく清潔感のある空間



男子トイレ